

(様式3)

5 学校アクションプラン

令和8年度 砺波工業高等学校アクションプラン - 1 -

重点項目	学習活動	
重点課題	基礎学力の定着 および「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業力の向上	
現状	・基礎学力（計算力、文章読解力など）が不足している生徒がやや増加傾向にある。 ・授業態度は真面目で素直である一方、主体的に学ぶ意欲が欠ける傾向がある。	
達成目標	① 基礎力診断テストで学習到達度を測る 前回の成績より GTZ(学習到達ゾーン)を維持または向上した生徒の割合	② 互見授業の実施 互見授業週間を設定し教員が互いの授業を見学して授業力の向上を目指す。
	75%以上	公開授業実施率 100% 見学実施率 100%
方策	・朝学習を行い、年間を通して学習時間を確保し、家庭学習を行う習慣づけとする。 ・互見授業週間を設け、教科の枠を超えて他教科・他学科の授業を見学し、見学者が記入したアンケートや感想を授業者に伝える。授業者はそれをもとに改善点を見つけ、授業力の向上を目指す。 ・学校訪問を活用した授業研究（学校訪問時の公開授業を他校の教員が参観する研修）を活用する。	

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった)

令和8年度 砺波工業高等学校アクションプラン - 2 -

重点項目	学校生活	
重点課題	基本的な生活習慣やモラルの確立	
現状	・あいさつができる生徒は少なくないが、あいさつをしても声が小さい者や、うなづく程度の者がいる。また、あいさつはできても話す時には自信なさそうに小さな声になってしまう生徒もいる。校内では元気に話せるのに、校外に出ると声が小さくなってしまっている者もいる。 ・基本的な生活習慣の乱れが学校生活に悪影響を及ぼしている生徒や体調不良を訴えて欠席する生徒がいる。 ・軽傷ではあるが、不注意から交通事故に遭う生徒がいる。	
達成目標	① 毎日、来校者や教職員、友人に自発的にあいさつができた生徒の割合。	② 交通事故数
	80%以上	0件
方策	・全職員が一枚岩となり、生徒指導上の問題や課題の解決、改善に向けて取り組むとともに、学校全体でルールやマナーを守ろうとする雰囲気高める。 ・毎朝生徒指導主事等が生徒玄関等に立ち、生徒にあいさつをするとともに服装や時間厳守等について声掛けをする。 ・あいさつに関するアンケートを行い現状を把握して、自発的に明るく元気にあいさつができる生徒を育てる。 ・さわやか運動をはじめ、生活安全委員が生徒玄関に立ち率先してあいさつする機会をもつ。 ・学校付近での交通安全指導や自転車鍵かけチェックを実施する。また、交通モラルについて学ぶ機会を設ける。	

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった)

令和8年度 砺波工業高等学校アクションプラン - 3 -

重点項目	進路支援
重点課題	学年、科と連携した進路指導の充実および自己理解を通じた進路支援
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料やエネルギー価格の高騰や海外需要の落ち込みなどのマイナス要因はあるが、若年労働者の慢性的な人手不足により企業の求人は増加している。 ・基礎的な学力やコミュニケーション能力が低い生徒がいる。
達成目標	年度内進路決定 100 %
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・企業との積極的な情報交換により、企業のニーズを捉え生徒・教員に伝え生徒の就職活動に活かす。 ・進路に悩む生徒との面談を実施し、進路指導の立場からアドバイスする。 ・基礎学力やコミュニケーション能力の不足が心配される生徒を早期に把握し、教員との連携の下に本人の希望や適性に応じた進路先の確保・開拓に努める。必要に応じてハローワーク等の専門機関と連携し、適切な進路決定を目指す。 ・職業適性検査や自己分析の実施と就職スタートブック（労働局）の活用。 ・面接指導の充実により、面接試験だけでなく就労意識の向上を目指す。 ・進路の手引きを全学年に配布し、生徒と保護者に進路決定の流れを知ってもらう。 ・工場見学、インターンシップ、先輩の話を聞く会、応募前企業見学、オープンキャンパス等を通じて企業や学校を知り、進路決定するように指導する。

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった)

令和8年度 砺波工業高等学校アクションプラン - 4 -

重点項目	特別活動	
重点課題	自発的・主体的活動の促進	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的に問題解決のための行動力を身につけている生徒が少ないように感じる。 ・生徒は指示に従った行動をとれるが、自発的に取り組める生徒が少なく、その中でも主体的に取り組める生徒も少ない。 	
達成目標	① 学校行事「体育大会」と「鷹工展」において、自発的・自主的な取組状況で「取り組んだ」及び「やや取り組んだ」生徒	② 学校行事「体育大会」と「鷹工展」において、満足度で「満足」または「ほぼ満足」の生徒
	90%以上	90%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・企画等に生徒会をはじめ生徒が関わることができるようにする。 ・公式 Instagram に学校行事や部活動の記事を投稿し、活動を広く周知することで、いろいろな場面で達成感を感じられるようにする。 ・生徒会活動、学校行事等でリーダー活動を多くの生徒が経験できるよう、 <ul style="list-style-type: none"> ① 役割分担を設定し、役割を遂行するために自ら考えさせ、行動をとる機会を増やす。 ② 準備期間を十分に確保する。 	

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった)